

篁

会報2024 No.35

東京府立第二高等女学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会



特集

「82年卒業生の足跡」～高校時代の思い出とその後

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ● 第6回 ホームカミングデーのご案内 ……………02 | ● 奨学生認証式、体育祭・竹早祭 ……………11 |
| ● 会長挨拶、竹早高校校長挨拶 ……………03 | ● 東京校歌祭、シニア会、合格状況 ……………12 |
| ● 令和5年 篁会総会・第5回ホームカミングデー報告 …04 | ● 六竹・有志の会、この人紹介 ……………13 |
| ● 「若篁会」発足、西村顧問インタビュー ……………05 | ● 令和5年度理事会、決算・予算案 報告 …14 |
| ● 特集「82年卒業生の足跡」 ……………06 | ● これからの篁会活動とご協力のお願い ……15 |
| ● 特別セミナー、企業訪問 ……………09 | ● 役員紹介、表紙画像の解説 ……………裏表紙 |
| ● 学年幹事交流会、篁会キャリアセンター構想 ………10 | |

第6回 竹早高校 ホームカミングデー 思い出～現在～これから 共有と共感

開催日時 2024年6月16日(日) 12:00～16:30

リアル開催 (参加費無料・教育基金へのご寄付を！)

- 受付開始 12:00～
第一部 12:30～ 篁会総会
第二部 13:30～ 各種イベント
*オンラインプログラム
[81年卒生によるスペシャル講演会]会场上映
*卒業生によるブース別就職セミナー
*校舎内探索ツアー
*50年分「卒業アルバム」展示
第三部 15:30～ 交流会
*お楽しみ抽選会・その他
*懇談

☆リアル開催へ参加申込み方法 以下いずれかの方法でご参加下さい

- ①右のQRコード(ホームカミングデー2024参加申し込みフォーム)からエントリー
メ切:6月7日(金)
- ②当日の参加もOK(なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。)



同期生・先輩後輩・皆さん一緒にお誘い合わせの上、ぜひお越しください。
早めの昼食を済ませてお越しください。
心よりお待ちしております！

オンラインプログラム (限定公開 YouTube)

6月16日(日) 12:00から公開開始(当日リアル会場でも上映します。)

限定公開 YouTube はワカタケル(ホームカミングデー特設サイト)又は上記の QR コードからいつでも閲覧できます。

日本初の宇宙船こうのとりの —24年間におよぶ開発と運用、 その光と影—

植松 洋彦

宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 参与
(筑波宇宙センター勤務)

日本初の宇宙船こうのとりは、高度400キロを飛ぶ国際宇宙ステーションへ必要な物資を運ぶ輸送船である。その開発には13年余を要し、2009年の初号機から2020年の最終9号機まで11年間運用を続けた。幸いにも9号機全てを成功裏に収め、それまで有人宇宙開発においては途上国であった日本の世界的地位を押し上げ、月火星探査に向けた世界の期待も高まっている。だがその成功の裏には、様々な苦悩や失敗があり、そこに光が当てられることは無かった。16年間この宇宙船の開発・運用に関わった筆者が、そこにあえて光を当てる。



41歳でITベンチャー創業、 「千里の道」に不思議と 現れる道しるべ

保延 裕子

レッドクルーズ(株) 代表取締役 兼「JPubb」編集長

竹早卒業後、父の転勤で渡英。後、青学大英米文学科、PR会社等を経て、41歳でIT企業を創業。現在、主要企業、官公庁、業界団体の報道発表資料をIT技術で収集・データベース化し、法人顧客に提供する日本で唯一の情報サービス「JPubb」を運営。立ち上げ時は、アイディアは単純なのになぜ競合がないのか不思議に思ったが、その大変さに気づいた時には引き返す選択肢は無く、前進あるのみであった。サービス開発は長い道のりだが、不思議と道しるべが現れる。JPubbデータ解析は、産業や政策のトレンドをこれまでにない手法で描き出すことができ、無限の可能性を秘める。講演では、生みの苦しみの話を織り交ぜながら、JPubbデータ解析の可能性について一緒に考えたい。



主催: 篁会 <https://www.takamura-kai.com> 幹事年: 81年卒学年幹事会 協力: 東京都立竹早高等学校

箆会会長ご挨拶

高校23回生、箆71回生の高倉孝生です。日頃より箆会の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。今年に入り2020年2月からのコロナ禍もだいぶ落ちつき以前の日常生活が戻りつつあります。この3年間はリモートとオンラインでの対応ばかりで直接会って話をすることが禁じられ、同窓会の原点となる交流の場が作れませんでした。そんな中で開催を続けてきた中に特別セミナーがあります。現役高校生の進路選択の参考に箆会が少しでも役に立てばという気持ちで2008年からスタートして昨年で15年になりました。コロナ禍の3年間ではリモートとオンラインですから若手理事に尽力していただき、講座内容も講師や学校と高校生双方の意見を確認して進めて参りました。以前は進学実績や理系を重視したり、働く女性を特集したり様々な意見が出て参考にさせていただき進めてきました。語る側の講師のラインナップも年齢・職種・性別に幅広く人選しています。欲を言えば、セミナーのフォローも充実されたいと思います。

さて、今年の箆会は卒業生相互の交流を活発にする企画を昨年に引き続き積極的に提供し、意義ある活動を推進して参ります。最後にお知らせです。今年4月からNHK朝の連続ドラマ「虎と翼」にヒロイン三淵嘉子と共に日本で最初の女性弁護士になる中田正子(1910年生まれ)さんが登場しますが、第二高女(竹早高校)の卒業生です。皆さんで応援しましょう。



箆会会長
高倉 孝生

竹早高校校長ご挨拶

箆会の皆様には、箆会特別セミナーや箆会教育基金をはじめ様々なご支援をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことで、体育祭、竹早祭、合唱コンクールもリアルで実施することができました。特に竹早祭は一般公開で多くの来場者を迎え、生徒の素晴らしい発表が行えました。修学旅行は長崎に3泊4日で実施しました。平和学習に加え、都立高校として初めて五島列島での民泊も行い、充実した内容となりました。

探究の新プログラムも2年目を迎え、東京大学と東京工業大学への研究室訪問や大学院生のTA(ティーチングアシスタント)の活用など、高大連携を一層進めています。2年生は論文を完成させ、優秀な研究は都立大学や北海道教育委員会主催の研究発表会で成果を発表しました。

昨年度新たに実施したグローバルリーダー育成プログラム「Global Studies Program」を今年度も春休みに実施予定です。国際交流としては、東京都教育委員会の多文化共生派遣事業により本校生徒4名がUAEへの海外派遣に参加しました。また、マレーシア・マラ工科大学の学生が来校し、生徒会、箆曲部、茶道部等と交流しました。

これからも新しい時代を見据えた先進的な教育を推進していきます。今後とも箆会の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



竹早高校校長
堀切 哲弥

総会・ホームカミングデー

充実の中身で無事終了

2023年もリアル開催した簗会、ホームカミングデー。総会での“新しいプロジェクトの承認”とホームカミングデーのライブイベントの実施などライブ色も加え、よりリアルな満足が溢れました。

2023年度簗会総会

様々な承認決議も無事終了。幹事学年である80年卒 坪野松勇二氏の司会のもと、高倉会長からの挨拶でスタート。吉田副会長から2022年度事業報告、会計報告、2023年度の体制、事業計画案、規程改訂案、予算案を説明し無事終了となりました。また、トピックスとして、2016年卒以降増え続け、様々な事業活動の企画と実施に協力いただいている若手理事を中心とした若簗会(ワカタケカイ)発足推進プロジェクトが承認されました。

第5回 竹早高校ホームカミングデー

簗会総会後のホームカミングデーは、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、私たちの交わりの方も一歩進んだ形とすることができました。リアル開催とオンライン講演会を合わせた形での開催となりました。

リアル開催では、この日のために結成されたバンド「Bamboo Shoots」(たけのこ)の5名のメンバーによる懐かしい曲の演奏、日本初のパズル小説家「廣川州伸」理事による恒例の謎解きウォーク、交流会、卒業アルバム展示、オンライン講演会3本の上映を行いました。

オンライン講演会では、武政徹氏「アスリートからの贈りもの、『感動と勇気』だけで満足ですか?」、坪内ゆみ氏「絵本×ひと×伊豆～Cotori奮闘記」、三浦健氏「広がりを見せる建築家のしごと」の3本の講演を公開中です。まだご覧に

なっていられない方は是非、下記のQRコードからご覧ください。

交流会では、諸先輩方から飲料、お菓子、お土産品、抽選会用の景品などをご提供いただき、世代を超えた温かい交流の時をもつことができました。会の終わりには、今回も足を運んでくださいました元竹早高校校長の濱和廣先生のハーモニカの演奏で高校校歌を歌い閉めることとなりました。

この会の開催にあたりまして、先輩方や他の学年の皆さんのご助言やお心遣い、久しぶりに会えた同級生の協力を多くいただきましたことを感謝いたします。



ワカタケるサイト
QRコード



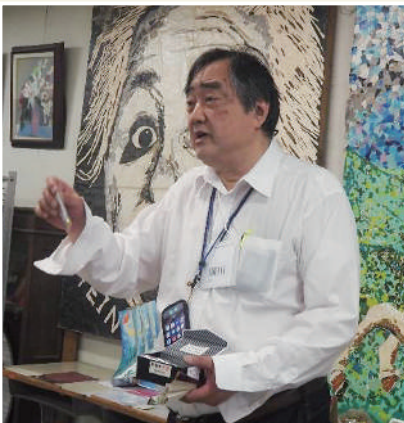
受付 先輩方と80年卒、81年卒のメンバーで



総会 吉田副会長の説明の様子



「Bamboo Shoots」の熱い演奏



謎解きウォークの「全部大吉おみくじ」!! ※



オンライン講演会3本の上映



濱元校長先生によるハーモニカ演奏

※昨年の謎解きウォークで廣川さん(74年卒)が使用したアタリ・ハズレのない「大吉くじ」が大反響。詳しくは<https://community.camp-fire.jp/projects/view/741705#menu>にて

若 会 成 向 け 篁 結 に け て

2023度の総会で、若手会員を組織化し、シニアが中心になって推進している「篁会」の両輪の輪として「若篁会」を結成しよう、という新しいプロジェクトが承認されました。組織のカタチやルールを決めるのは3年後とし、2年をかけて、若い理事はもちろん、そうでない若い会員も楽しく・愉快地に交流する、心地よい関係性をじっくりと築こうという方針のもと、10月にプロジェクト発足懇親会、12月には忘年会を開催し、1月の新年会にも参加しました。2016年卒から2022年卒までが集まりました。どちらの回にも高倉会長ほか、副会長やベテラン理事の皆さまも参加してくださり、世代差を吹き飛ばす笑いの花咲く交流ができました。また、交流と同時に、学びの関係も構築しようと、今年のホームカミングデーでは大学生会員を対象とした就活セミナーを実施予定です。

(2017年卒 若篁会幹事長 東島粹生)



西 村 顧 問 へ の イ ン タ ビ ュ ー さ せ て い た だ き ま し た !

3月某日、竹早卒業生で篁会の顧問でもある篁75回生の西村慶介さんを訪問、同級生の篁会吉田副会長と東島理事とでお話を伺いました。同月末にはキリン・ホールディングス株式会社代表取締役副社長退任を控える中での取材となりましたが、同社への入社を決めたきっかけや入社後に長く携わることになる海外事業への転機、海外事業における苦労とその喜びなど、ご自身の44年にわたるキャリアについて語っていただきました。また、これからの社会を生きる竹早の後輩への熱いメッセージもいただきました。インタビュー記事は篁会ホームページに掲載しております。以下のQRコードより是非ご覧ください。



右から西村顧問、吉田副会長、東島理事



篁会ホームページ



戦争と平和

A
ルーム

中島 淑恵

英語の太田先生はデビルと仇名されるほどおっかない先生だった。少しさぼるとすぐに見抜かれた。ちょっと英語が得意なくらいでは使い物にならないのだと眼光鋭くいつも叱られていたような記憶がある。私は自分で英語は得意だと思い込んでいたし、ろくに勉強しなくても外大になんとか潜り込むことができた。子供の頃からルパンとベルばらに憧れていたもので、なんとなくお堅いイメージのある英語学科ではなく、花のフランス語学科に入学した。ところが入学してみると、既習者やバイリンガルがごろごろいて、入学してからフランス語を始めるような不心得者は私一人だったのである。しかも英語訛りがなかなか直らず、ネイティブの先生には「英語学科に転科すれば？」と目の敵にされ、すっかりしょげ返っていた。

そんな頃先生にお目にかかる機会があった。先生は外大の大先輩である。先生の学生時代はどんな様子だったのかとおおそれながら伺ってみると、思ってもみない答えが返って来た。戦中のことである。入学するとすぐに全員でインドシナ語の勉強をさせられた。そのあとは暗号解読、戦後

は英語の翻訳や通訳に駆り出され、自分の好きな語学など一度も学べないまま社会人になったのだという。「平和な時代に自分のやりたいことを学べるなんていいことじゃないか。思いっきりやりたいことをやりなさい」と優しくデビルに諭され、その後結局40年以上フランス語と付き合うことになった。

芸は身をたすくとはよく言ったもので、食えない時代には通訳や翻訳で糊口をしのぐことができた。なんとか大学に職を得て自分の好きなことを研究する人生を送れている。平和の尊さも若い世代に語り継がねば、と思っている。



才能？そんなものはどうとだってなります！

B
ルーム

徳丸 鏡子

「サイノオオ!?そんなものなあー、後でどうとだってなります！」呆れたような声が美術室に響いた。美術部の1年坊主だった私は石膏デッサンをする手を止めて会話に聞き耳を立てた。美術の小野政吉先生に2年生の女生徒が美術系の大学に行きたいのだが、と進路相談のようなものをしていたのだった。女生徒「食べていくことはできるんでしょうか」先生「まだ（卒業生が）飢え死にしたってえ話は聞いてませんよ」女生徒「才能があるか自信なくて」先生「才能!?そんなものなあー、後でどうとだってなります！」その言葉に続けて先生は極めて真剣に尋ねられた。「君は、体は丈夫か？健康でなかったらこの道はちょっと大変になりますよ」「はい、体だけは丈夫です！」にっこり笑って答えた女生徒に先生もにっこりと笑って「じゃあ、大丈夫だ!!」とおっしゃった。

いつも美術室や準備室でご自分の絵を情熱的に描かれていた竹早の名物教師のおひとり小野先生。その常に本音炸裂のトークに私は1年間しか触れることができなかったが、強烈に影響を受けた。絵を描いたり物を作っている時には頭の中で鳴り響

いている自分への罵声が止み、対象物と親密で建設的な会話ができただけの高校時代、私はほとんど絵を描くことに引きこもっていたような状態だった。絵を描くことから離れたら自分は死ぬか狂うな、と思ったので、誰にももぎ取られないように美術を職業にすることにした。才能なんて本当に後からどうとでもなったみたいで、大学に入るのに4浪もした私が今は成り行きで陶芸で造形作品を作る作家ってものになってしまい、気がついたら海外や日本の美術館に作品が収蔵されたりしていた。今も時々空を見上げては口走る、「はい先生、私もまだ飢え死にしません！続けています」と。



人との出会い・繋がりに感謝

C
ルーム 杉岡 品子

竹早高校での思い出といえば、綿貫陽先生と出会えたことである。憧れの高校生活は、自分が思い描いたものとは違うものだった。意気揚々と入学したものの、同級生はレベルが高く、目標も明確な人が山ほどいた。早々に躓き、「自分はどういう道に進むのか」に答えが出せず、悶々とした日々を過ごした。それでも、友人には恵まれ、それなりに楽しい日々だったが、大学受験は全敗した。どこにも所属していない不安や焦りの中、授業でしか接点のなかった私に寄り添ってくれたのが綿貫先生だった。浪人してもなお自信が持てず迷走する私に、「偏差値の高低ではなく、試験問題の質のよい大学は入学後も質のよい教育をしてくれるものだよ」と助言をくれた。その後も25年以上、年賀状で温かい言葉をくれた綿貫先生との出会いは、私の人生の宝物である。

短大卒業後、就職した会社で社員の健康相談にテキパキと対応する看護師の方の仕事ぶりに憧れ、20代半ばに看護学の世界に飛び込んだ。都立病院では看護師として小児病棟に勤務した。小さな体で懸命に生きる子どもとそこご家族からは、生命の尊さ、家族の絆など、多くのことを教えられ私自身が支えら

れた。そのような中、心のケアの知識やスキル不足を感じ、臨床心理学の扉をたたいたのは30代後半である。北海道に移り住み、大学、大学院で臨床心理学を学んだ。今思えば、猪突猛進、怖いもの知らずの選択だったが、経験は今につながり無駄なことは一つもなかったと実感する。

現在は、北海道で大学教員として教鞭をとりながら、小中学校のスクールカウンセラーとしても従事し、学校臨床をテーマに研究を続けている。学生や児童・生徒達の成長やはかり知れない可能性を目の当たりにし、心を動かされる日々である。

私のこれまでの歩みは紆余曲折であったが、岐路に立った時、綿貫先生を始め、学校の恩師、職場の上司や先輩、同僚や友人が寄り添い、時には叱咤激励をくれた。本当に多くの人に支えられてきたと感謝している。これからも人との出会い・繋がりを大切にしていきたいと思う。



恥の多い高校生活を送ってました

D
ルーム 古谷 晋

...と、のっけから太宰のパクリですが、全てに恵まれすぎて身を持ち崩した太宰とは違い、運動音痴、ブサメン、コミュ障と三拍子揃った私には楽しい青春など望むべくもなく、他人が面白おかしい青春を送っているのを指を咥えて見ているしかない運命にありました。

今で言うスクールカースト最下層。そんな奴が居場所を得るためには自らを道化とする路しかない、と考えたまでは良いんですが、振り返ると当時の自分のギャグセンスは最低。当時は、もっと毒気を、まだまだ狂気が足りないなどと思っていましたが、ギャグとして未消化な毒気、非凡に憧れた凡人の痛々しい狂気のポーズなどただのゴミ。若気の至りとか厨二病(編集部注「中二病」の別称。主にネット上で見られる)とかで片付けられないレベルの恥ずかしさです。ホント。

「三つ子の魂」とは良く言ったもので、その後も、順調に負け組人生を歩んで気がつけば還暦近くですが、高校時代に熱中したものが今も役立ったりしています。

1. 漫画

医師の仕事の場などで「イヤなア○パンマン」などを描いて子供達に喜ばれたり、療養上の注意のビラなどにイラストを入れたりして、地味に役立つことがあります。

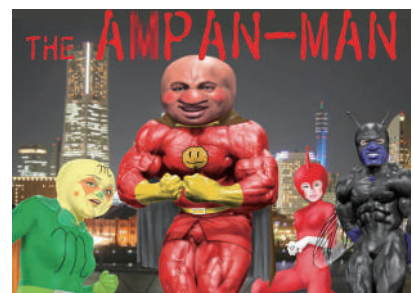
2. TVゲーム

こんなものに出会わなければ…、とも思いますが、非リア充の孤独な時間を過ごすには役立ってます。

3. 音楽

YMOに出会わなければ(以下略)。卒後は音楽が一番の趣味になり、人生の潤いとなっています。メンバーのうち2人が逝去されました。御冥福をお祈りします。

残りもまったりと楽しく(?)負け組人生を歩むことになりそうです。



「明日への翼」を現役竹早生につなぎます

E
ルーム

柴田 洋

私にとって自主自律の竹早高校の校風は強烈でした。個性的な先生方の授業に毎日緊張していましたし、青春を謳歌していた先輩や同学年生を羨みつつも、未知の世界に飛び込む勇気が足りず、うじうじしていました。入学式で吹奏楽部の校歌演奏に心惹かれたのに入部は半年後など、もったいないことをしていました。見かねた担任の金子史郎先生に「学級通信に『かくて私は大学に合格する』宣言を書きなさい」と有言実行を促されるも気が足らず浪人。金子先生は翌年に年賀状で再度激励をくださった温かい方でした。

大学を卒業したら大好きな鉄道趣味を仕事に活かすつもりでしたが、一浪のついで卒業が1987年となったため、国鉄からJRに移行するタイミングで大卒募集がなく、私は国鉄からお客様を奪って分割民営に追い込んだ航空会社に入社することとなりました。国際線で当時後発のANAだったのですが、自分のパスポートを未取得のまま国際線予約担当となり、その後も国際線事業に関わりながら繰り返す好不況に9.11、震災、コロナとイベントリスクに悩まされ続けてきました。一方で仕事

は面白く、思い切りやらせてもらえました。そんなある日、「君は竹早出身なんだって？」と呼ばれたのが、篁会の会長を務める前の篠辺さんで、雲の上の役員直々のことでびっくりしました。その後、竹早現役生向けの整備工場見学が開催され、私もコロナ前にご一緒させていただきました。

私も60歳に到達してANAで雇用延長期間に入りました。心身のケアを怠らず、期限いっぱいまで働き、航空ネットワークを堅持することに微力ながら貢献したいと考えています。そして現役生の皆さんには現地に飛んで、外の世界をたくさん実体験していただきたいと思っています。



卒業後40年以上経過しても、同級生に助けて頂いています

F
ルーム

大谷 義夫

私は立教小中学校を経て竹早高校に入学させて頂きました。私立から公立学校でしたので、雰囲気も異なり、何よりはじめての共学ですので戸惑いました。同級生は勤勉ながら自由な雰囲気でしたので、ガールフレンドが出来なかったこと以外は楽しい思い出です。

卒後1年の駿台予備学校を経て、群馬大学医学部に入学し、前橋で6年間を過ごしました。卒後は東京医科歯科大学第一内科に入局、その後、呼吸器内科を専門にしました。40代になって米国ミシガン大学に留学。帰国後は、米国での研究を日本の診療に役立たせるためにも、大学病院勤務を継続すべきでしたが、両親の病気を理由に、地元の池袋に戻って2009年に呼吸器内科のクリニックを開業させて頂きました。親は医師ではなく、患者様はゼロからスタート、池袋の繁華街のクリニックで近隣住民は少ないので、某会社の事前調査では経営は成立しないと予想されましたが、呼吸器専門医が少ないこともあってか、現在まで潰れることなく忙しい診療に追われております。特にコロナ禍では毎日発熱外来で多数のPCR検査を行い、逃げ出したい日々でした。

コロナ前から、なぜか、TV番組からお声がけ頂いておりました。当初は短いコメントでしたが、次第に生放送に呼んで頂き、TBSでは医療番組にレギュラー出演させて頂きました。コロナ禍では限られたリモート出演のみでしたが、2023年11月のウォーキング本本の出版を契機に、TV朝日羽鳥慎一モーニングショーや中居正広のキャスターな会、TBSひるおびなどのスタジオに再びお伺い出来るようになり、コロナも5類になって落ち着いたことを実感しております。

気が弱い私がTVでコメントさせて頂く際にも、多くの竹早高校同級生にアドバイスを頂きました。高校卒業後、40年以上経過しても、竹早高校と同級生に心から感謝申し上げます。





卒業生が1年生に向けて、受験や大学生活、就職後の体験等を語る『特別セミナー』。今年も様々な業界で活躍する20代から70代まで13名の講師の方にお越しいただき、父母と教師の会の皆様のご協力の下、実施しました。

入学して3か月という時期ではありましたが、受講後の生徒の感想文を読むと、大学の選び方、どんな職業につくか、など真剣に考えている生徒が大勢いて、竹早生の意識の高さに感心しました。

講師の皆様には、お忙しい中、情熱いっぱいのご講義をしていただき、感謝申し上げます。

講師名	卒業年	職業等	講義タイトル
水田 茂夫	1971	米国投資会社	海外留学を目指そう
田村 浩之	1975	建築業界(土木)	理科系へ進む人へ 社会資本の整備を担う技術者とは？
吉田 賢治	1975	広告代理店	3つの嬉しさをつくること
柴田 美香	1978	内科医師	医師の仕事あれこれ
多田逸左久	1978	音楽家	失敗から学んだこと、近頃思うに至ったこと
関根 隆司	1980	海運業	野球は一所懸命!だったけど勉強では落ちこぼれた高校生 「外航船舶の船乗りとして社会に出て40年、色々ありました」の話
戸次 聡史	1982	記者	マスメディアへの進路
高橋 晶子	1989	商社会社	自主自律の精神と人と人との関わり方
廣瀬 愛子	1993	外交官	架け橋になるために
柳原みずき	1993	公益財団法人	"Think Globally, Act Locally" ~「世界」をみつめて仕事する~
山田 愛	1993	システムエンジニア	仕事で幸せになるために
大森 美樹	2016	医療コンサルティング	進路・将来の探し方~学生時代から社会人までの経験・医療業界まで~
東島 粹生	2017	商社会社の 情報システム担当	文系出身情シスと考える人間とIT との関係



先輩たちの職場を訪ねて

~夏季休業中 希望生徒参加~

卒業生の所属する企業を訪問する『企業訪問』

今年も4企業がお忙しい中、1年生の訪問を受け入れてくださいました。

普段入ることのできない工場や研究所等の中を見学させていただきました。生徒たちはその規模の大きさ、企業の社会貢献、SDGsの取り組み等、多くを学びました。さらに様々な体験もさせていただき、皆大興奮でした。

猛暑の中、ご案内いただいた同窓生及び各企業ご関係の皆様、誠にありがとうございました。

訪問先	
8月18日	キリンビール横浜工場
8月24日	ANA Blue Hangar
8月25日	JR東日本研究開発センター 安全研究所(大宮)
8月29日	シチズン時計東京事務所(田無)



「学年幹事交流会」で若タケとシニアが集いました



2024年3月20日、竹早高校(被服室)にて2023年度卒業生の「学年幹事交流会」を開催しました。

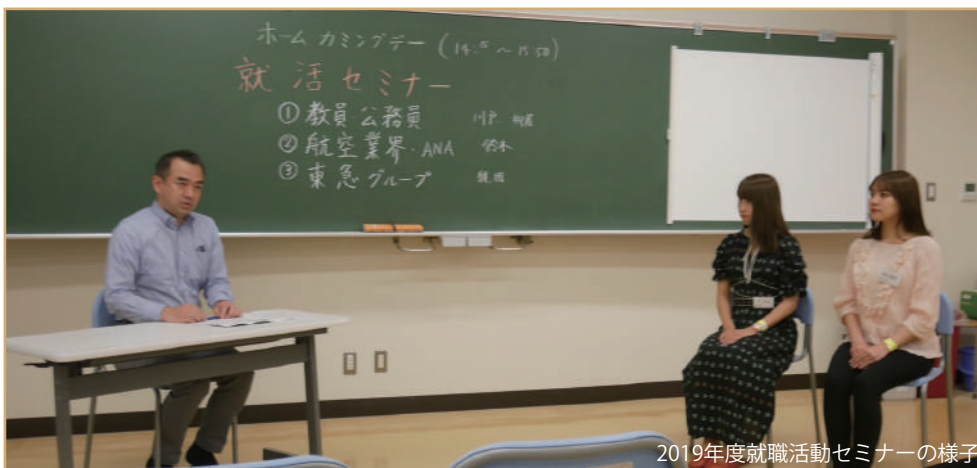
この「学年幹事交流会」は、毎年3月に実施します。例年その年の卒業生の代表者(学年幹事)や既卒生の代表幹事に出席を依頼し、箆会および学年幹事の役割について理解していただくことが目的です。本年度は若タケ内の縦の交流を深めることもより意識し、120回生から124回生までの幹事計21名に参加していただきました。

当日は高倉会長よりお話をいただいた後、シニア理事も含めて参加者同士でアクティビティを実施しました。また、箆会の活動や学年幹事、理事の役割について理解していただきました。参加者からも「箆会の活動に興味を持てた」、「和気あいあいと先輩と交流できた」というお声をいただき、箆会と若タケの結束を高める有意義な交流会となりました。

今後も、箆会が高校生・大学生をはじめとする若手の皆様の活動の支えとなるよう、努めて参ります。

(文責 2020年卒 鈴木彰太)

「箆会キャリアセンター構想」の取り組み



2019年度就職活動セミナーの様子

2021年度より取り組みを開始したキャリアセンター構想ですが、本年度は就職活動を控えた大学生を対象として、リアル開催型の就職活動セミナーを実施する予定です。当日は、様々な業界で活躍する若手社会人の方々にお集まりいただき、自身が働く業界や就職活動時の過ごし方などを学生会員に伝授していただきます。

また、箆会では本構想で掲げる「都立高校の中で最高の『学びと交流』を実現する同窓会」を目指し、既に社会人として活躍されている会員の方にも見ていただきたいコンテンツの拡充も進めています。具体的には、5ページでご紹介している卒業生インタビュー記事や、ホームカミングデー企画のアーカイブであるWeb動画ライブラリーといったコンテンツを増やしていく予定です。今後とも会員の皆さまのご協力をいただきたく、よろしくお願いたします。

(文責 2017年卒 東島粹生)

第12回篁会教育基金・奨学生認証式

2023年7月19日実施

審査で選ばれた3年生3名が「竹早高校から出発する近い未来と夢」を語ってくれました。

加藤 文花さん

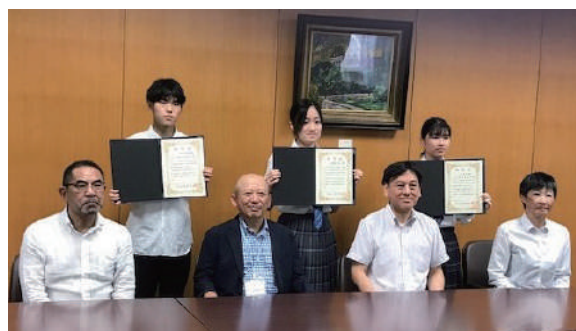
◆私は、世界史の授業で先生の言葉巧みな話を聞き、イスラムの宗教や文化、言語に強く興味を抱きました。また、私の将来の夢は、中学校の英語教師になることです。大学では、留学を通じたイスラムの言語文化の探求と、教職課程の履修に邁進していきたいです。この篁会の奨学金を活かして、竹早の校歌に「協同親和」とあるように、グローバルな範囲で人々と親しみ、異文化間の架け橋になるような人物になれるよう努力していきます。

盛 爽子さん

◆奨学生の認定証を手にした今、日常の一部であるこの竹早が母校になること、着実に将来に向けて歩みを進めていることを実感し身の引き締まる思いです。コロナ禍での生徒会長として、大人と学生など異なる立場の人との「協働」の難しさと大きなやりがいを感じました。将来は社会諸科学を幅広く学び、より大きな規模の「協働」の一端を担っていきたいと考えています。

大坂 祥輝さん

◆僕の将来の夢は建築家になることで、大学では建築学科に入って建築について学びたいと思っています。しかし、ただ建築について学んだだけではより良いものをつくることはできないと思います。大学では自分の専門の科目にとらわれずに、世界の風土や歴史など様々な分野に興味を持って学んでいきたいです。そして、将来は心の休まるような素敵な場所を創りたいです！



竹早の仲間とともに得た達成感、心に残る思い出

太陽も張り切る空に、笑顔と涙の体育祭

今年の体育祭は当日が雨天で延期になりながらも翌日には眩しいほどの青空、蒼色の芝生と団の六色が綺麗に映える日に無事に開催できました。執行部や団幹部を中心に3年生にとっては最後の体育祭であり、悔いのない思い出になるように5月から準備に熱が入っていました。1年生にとっては入学して初めての行事で戸惑いもあったと思いますがGWからのパフォーマンス練習では先輩方から優しく指導してもらい、当日には全ての団が笑顔溢れるパフォーマンスをしていました。先輩方にももらった優しさや情熱を胸により良いものになるよう来年度も引き継いでいきます。



絆と努力の結晶、伝統を引き継ぐ竹早祭と竹夕祭

今年の竹早祭では2年生はクラス劇、3年生はアリーナ劇の伝統を引き継いで行われ、1年生は去年とは変わり、催し物をするようになりました。各クラスの個性が溢れるアイデアを形にし、完成度の高いものをつくるために1年生だけでなく2、3年生も夏休みから準備に力を入れ、クラスの仲も深まってきました。先輩方の劇は一つ一つが感極まるような作品で後輩たちにとって、来年は自分たちの番だと胸を踊らせ、奮起するきっかけにもなりました。竹夕祭では暗闇にペンライトの光がきらめきながら多くの生徒が歓声を響かせ盛り上がりを見せていました。先輩方の勇姿を目に焼き付け、竹早の伝統を引き継ぎながらより良くしていきたいです。



■第31回東京校歌祭に参加しました

2023年12月3日(日)国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールにて都立高校18校が参加しての東京校歌祭が開催されました。各校の在校生から80代の卒業生までもが一緒にそれぞれの新旧(旧制中学・旧制高女と高校)の校歌などを大ホールのステージで歌いました。

2024年は10月27日(日)杉並公会堂大ホールでの開催です。コーラス部OBの方々、その他参加ご希

望の方はどなたでもご連絡ください。

(takamurasenior@gmail.comシニア会事務局)



■シニア会開催のご報告と次回開催のご案内

2023年10月14日に四ツ谷駅前のスクワール麹町で開催されました。「竹早を卒業して50年」以上の卒業生が中心です。今回は高女卒業生の現役ドクター藤田淑子さんのお話を伺いながら、各テーブルではミニ同期会となっていました。

2024年の開催予定は右記のとおりです。対象はシニア世代どなたでも。若い世代も歓迎です。ミニ同期会、ミニクラス会の場としてもご利用ください。お問い合わせはメールでどうぞ。

2024年シニア会

日時:2024年9月21日(土) 12:00~14:00

会場:スクワール麹町(四ツ谷駅前。前回と同会場)

会費:7,000円

※4月から放送中のNHK朝ドラ「虎に翼」は初の女性弁護士を描いていますが、そのうちの一人は第二高女の卒業生・中田正子さん
がモデルです。明治大学の「虎と翼研究会」のメンバーが中田正
子さんについての話をします。

参加申し込みは

「シニア会参加申し込み・卒業年度・氏名・連絡先」を下記まで。

①メール<takamurasenior@gmail.com>

②ファックス<042-487-3258>

③電話<090-3331-5093 関>

<080-2035-3698 泉>

<090-3234-1603 古山>



■80年卒 Bamboo Shoots その後

昨年ホームカミングデーに合わせて80年卒の有志で結成されたBamboo Shoots。その後も絆をさらに深め、北区、豊島区の主催の舞台にも出場しました。

今後は、こじんまりした音楽イベントの出場を考えていてYouTubeにも挑戦してみたいとのこと。還暦過ぎとは言え、体力とチャレンジ精神の残量はたっぷり。「これからも仲間と一緒に経験を重ね、人

生のスパイスになればよいと思っています。メンバー募集中！パートは何でも歓迎」とのことでした。

(文責 1980年卒 本村美奈子)



2023年度大学合格状況

国公立大学 81名(東京大1、一橋大3、東工大6、京大1、北海道大9、東北大2、東京外語大4、東京学芸大2、千葉大6、埼玉大8、筑波大2、横浜国立大1、東京農工大2、東京都立大9、電気通信大5)

私立大学 903名(早稲田大38、慶応大8、上智大15、東京理科大30、明治大91、青山学院大37、立教大46、中央大30、法政大78、学習院大20、日本大48、東洋大71、駒澤大15、専修大18)

*詳しくは5月以降、竹早高校のホームページ(www.takehaya-h.metro.tokyo.jp) <卒業後の進路>進路データ>大学合格状況)をご覧ください。

■六竹・有志の会

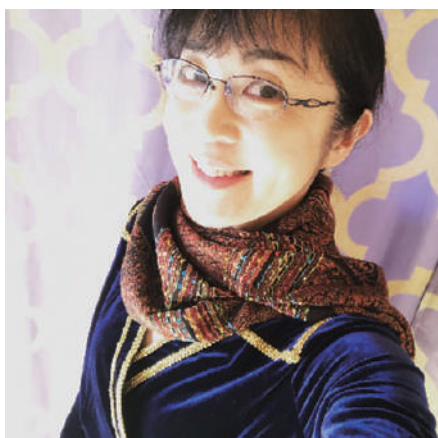
2023年6月6日に「六竹・有志の会」と称し、都内の「如水会館」に集まった。コロナ禍で4年振りの開催となり、前は29名であったが、今回集まったのは15名であった。また、今年がそれぞれ「米寿」を迎える年齢であったことから、この会合で「米寿を祝う会」も兼ねた。全員からの「近況報告」では、我々世代が戦時下に育ったため、空襲、疎開、引揚等の思い出話をされた方がおられ、また、在学時のクラス担任が、三瓶(国語)、辻(生物)、早坂(英語)、角川(歴史)諸先生と個性派の先生方が多く、それに伴う思い出話があった。さらに、当時わが校はバレーボールの強豪校で、当時レギュラーであった中田(旧姓梶)、清水(旧姓上原)両女史から、当時の厳しい練習状況を伺

った。最後に、例年通り、矢部君の音頭で「高校校歌」を一同で合唱し、散会した。

(影本昌則 1954年卒)



■この人紹介



泉 美紀代(いずみ みきよ)さん

企業デザイナー経験を生かし
ジョージアダンスの日本普及に務める 1982年卒

泉さん(旧姓黒須美紀代さん、芸名Sapphiraさん)は、卒業後美大を経て花王、Avon等の企業内デザイナーとして働き、商品開発の業務を経験。ご家庭の事情でその道を断念していた2017年~18年のある日、YouTubeで「アチャルリ(ジョージアダンス)」を観て「踊りたい」という衝動に駆られ、一本道にジョージアダンスに精進されました。

現在は企業デザイナー経験を総動員してジョージアダンスの日本での普及と両国友好に尽力されています。

今回、ジョージアダンスとの出会い、その魅力、目指すことなどを美しい写真の数々とともに紹介していただきました。



徳丸 鏡子(とくまるきょうこ)さん

独自の作風で活躍する陶芸家 1982年卒

徳丸さんは、竹早高校時代小野政吉先生に出会い、学びの中からご自身の芸術観を育み、陶芸の道へと進まれました。

現在は「自分・出来上がって行く作品・イメージの三者で対話しながら即興的に作り進める」独自の作風で陶芸家として活躍されています。

今回、ご自身の陶芸の世界観と作品、そこに至る道のり(竹早高校時代、美大進学から陶芸との出会い)、陶芸家としての変遷などを紹介していただきました。

詳しくは笹会ホームページで是非お読みください。

令和5年度理事会報告

●第一回 2023年6月18日開催 総会

1) 承認

- ・新監事選任の件 1973年卒 高橋 政行氏
1979年卒 鳴沢 清隆氏
- ・新理事選任の件 2022年卒 松田 理玖氏
- ・理事退任の件 1969年卒 松丸 直樹氏
1975年卒 田村 浩之氏
- ・監事退任の件 1964年卒 佐藤美紗子氏
1976年卒 岩井 良輔氏

2) 事業計画

- ・同窓会名簿公開システム停止と管轄移行、特別セミナー、奨学生認証式7月実施の件
- ・企業訪問実施の件、学年幹事交流会の件、広報活動の件、若篁会発足準備の件

●第二回 9月16日 出席15名 委任状8名

1) 承認

- ・会報誌編集長(81年卒 堀越 睦氏)
- ・ホームカミングデーリーダー(81年卒 江口真理氏)
- ・若篁会準備活動の骨格
- ・会費振込先の拡充

●第三回 11月11日 出席14名 委任状10名

1) 承認

- ・会報誌の頁割、基本要項
- ・若篁会準備集
- ・収支拡大策、費用削減策の基本方針
- ・ホームページ制作方針と新アイデア

●第四回 2024年1月13日 出席18名 委任状7名

1) 承認

- ・会報誌制作進捗状況報告内容
- ・ホームカミングデー特別講座講師案 実施概要
- ・学年幹事交流会日程と推進メンバー
- ・24年度の活動方針とプロジェクトチームの編成案

●第五回 2023年3月20日 出席10名 委任状10名

1) 承認

- ・会報誌制作進捗状況報告内容
- ・ホームカミングデー特別講座講師案 実施概要
- ・学年幹事交流会日程と推進メンバー
- ・24年度の活動方針とプロジェクトチームの編成案

2) 報告

- ・会報誌編集進捗、ホームカミングデー実施内容
- ・新理事候補承認(6月総会にて正式承認手続き)
- ・シニア会の事業承認案件

篁会 2023・令和5年度収支決算(案)

2023年4月1日より2024年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	3,529,507	奨学金	210,000
《特別会計定期預金差引金額》12,000,000		教育援助金	0
入会金(新入会員)	1,840,000	贈呈記念品費(3年)	238,659
年会費	1,614,812	篁会特別セミナー(1年)	120,000
定期預金解約入金	2,000,000	会報発行費	2,721,429
受取利息	5,442	竹早祭出店	0
雑収入	31,393	篁寿会精算金	159,459
寄付金	67,385	校歌祭	60,320
104,220※		若篁会	31,000
		新卒学年幹事交流会	55,412
		ホームカミングデー(含総会)	58,931
		総務費	179,830
		Webサイト運営保守	664,400
		Web・HP管理費	0
		DX推進費	128,723
小計	5,559,032	支出計	4,628,163
		次年度繰越金(C-D)	4,460,376
		次年度繰越金	
合計(A+B)	9,088,539	合計	9,088,539

基本資産明細(収入・基金)		基本資産明細	
前年度繰越金	15,529,507	ゆうちょ銀行 定期貯金	10,000,000
定期預金	10,000,000	現金	49,811
周年事業基金	468,486	ゆうちょ銀行 通常貯金	2,263,900
高女記念碑基金	243,600	ゆうちょ銀行 振替口座	1,085,747
教育基金	104,206	みずほ銀行 普通預金	1,060,918
教育基金繰入金(利息等より)	104,220	合計	14,460,376
上記以外の繰越金・収入	8,168,027		
合計(A+B)	19,088,539	次年度繰越金	14,460,376

篁会 2024・令和6年度収支予算(案)

2024年4月1日より2025年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	4,460,376	奨学金(3年)	300,000
《特別会計定期預金差引金額》10,000,000		教育援助金(3年・帰国)	20,000
入会金(新入会員)	2,240,000	篁会特別セミナー(1年)	120,000
年会費	1,800,000	会報発行費	2,500,000
受取利息	20	竹早祭出店	0
雑収入	100,000	校歌祭	50,000
寄付金	100,000	若篁会	50,000
		新卒学年幹事交流会	60,000
		ホームカミングデー(含総会)	100,000
		活動推進補助金	100,000
		総務費	100,000
		Webサイト運営保守	664,400
		Web・HP管理費	15,000
		DX推進費	150,000
小計	4,240,020	小計	4,229,400
		繰越金	4,470,996
		(E+D)	8,700,396
合計(A+B)	8,700,396	合計	8,700,396

基本資産明細(収入・基金)		基本資産明細	
前年度繰越金	14,460,376	ゆうちょ銀行 定期貯金	10,000,000
定期預金	10,000,000	現金	
周年事業基金	468,486	ゆうちょ銀行 通常貯金	
高女記念碑基金	243,600	ゆうちょ銀行 振替口座	
教育基金	208,426	みずほ銀行 普通預金	
上記以外の繰越金・収入	7,779,884	合計	
合計	18,700,396	次年度繰越金	

これからの篁会活動とご協力のお願い

これからの篁会は、幅広い世代にわたる卒業生の交流と学び合いを推進して行きます。

- ①デジタルを上手に活用しながら、卒業生の多様な生き方やビジネス知見等伝える場をつくります。
- ②「若篁会」の育成支援や「シニア層」の交流促進支援を推進してまいります。
- ③在校生のための特別セミナー、企業訪問をこれからも改善しながら強く推進してまいります。

篁会は2010年以前に卒業された皆様で、住所登録者全員約11,000名に創刊の1970年以来53年間、会報誌を郵送して参りました。そしてここ数年は卒業生、在校生のための施策活動を強化し、様々な催しやセミナー、オンライン活動を行っております。今後も積極的に拡大して行く方針です。

その一方で、ここ数年会費納入者の減少傾向は歯止めがかからず、大きな額のマイナスが3年間続いております。蓄えが尽きるのも時間の問題となってきております。

その対策として理事会では、予算の大半を占めている会報誌の部数削減を検討いたしました。より多くの卒業生に近況と活動報告を行い、少しでもその交流に役立てるといふ会報誌の目的に鑑み、2025年までは、会費の納入に関わらず会報誌を発送することといたしました。

しかし、その間に収支が改善されなければ、誠に残念であります。2026年度より「2023年以降3年間で1度も会費を納めていただけなかった方」の中から漸次、会報誌を送付しないこと、或いは有償でのお申込みとすることとさせていただきます。会員の皆さまにおかれましては、この点ご理解いただくとともに会費寄付等是非ともご支援を下さいますよう、お願い申し上げます。

令和6年5月 篁会会長 高倉 孝生

会費納入の仕方について

①本書同封の振込用紙

②クレジットカード決済

ホームページのガイダンスに従い決済ください。
同封振込用紙上段記載のユーザーID入力が必要です。

③銀行振り込み

必ず卒業年4桁(19●●年卒)と氏名(フルネーム)を入力の上
みずほ銀行 本郷支店 2350582 竹早高等学校篁会 に振込ください。

(振込手数料はご本人負担となります。)

※年会費は2口(2000円)以上となります。

※同窓会システム停止に伴う連絡先はtakamurakai@gmail.comです。

右のQRコードからも入ることができます。

住所連絡先などの変更の場合は、同封のハガキに記載の上お送りください。



2023年度寄付をしていただきました皆様、誠に有難うございました。

篁燦会：河井弘子様、古平八重子様(高校3回生) 湘南篁会：影本昌則様(1954年卒)

ホームカミングデーご来場の皆さま



表紙油絵について

私はあまり真面目な生徒ではなかったので、この絵を写生しているときも、キャンバスを立てたまま近所の喫茶店でコーヒーを飲んだりしていた。最後の数時間であわてて完成させた割には我ながらよく描けていると思う。

この絵は私が高2の1979年ごろ、母校の非常階段から見える若竹寮の煙突を描いたものである。若竹寮とは学芸大学の女子寮で、新校舎に改築する際にその敷地を買収したそうだ。美術の小野先生は温厚なおじいちゃん、私の絵を見ると「あなたの絵はフランスの…の描き方に似ています」と褒めてくれた（残念ながら誰と言ったか忘れた。モネだったか?）。「でもこの空が物足りないんです」と言うと先生は私のパレットに指を突っ込んで絵の具をかき混ぜると、水色の空の上に描きなぐった。一瞬の出来事に啞然としたが、確かに絵にアクセントを加えた。今も先生の指の跡が鮮明に見える。

今回ありがたく表紙に採用されることになり、実家の本棚の上に何十年も放置されていたこの絵を取り出して飾っている。見つめていると、今は亡き小野先生の優しい笑顔や、一緒に美術を選択した友の顔が脳裏に浮かぶのである。

画：長尾 知真子

篁会役員

〈2024年3月現在〉

会長	高倉 孝生	1971年卒	理事	廣川 州伸	1974年卒	理事	堤谷 美柚	2018年卒
名誉会長	堀切 哲也	竹早高校校長	理事	佐々木 章子	1976年卒	理事	松岡 舞	2019年卒
顧問	磯貝 恵三	1955年卒	理事	神門 正雄	1979年卒	理事	宮岡あや野	2019年卒
顧問	篠辺 修	1971年卒	理事	根岸潤一郎	1979年卒	理事	池ヶ谷駿介	2020年卒
顧問	西村 慶介	1975年卒	理事	本庄 忍	1979年卒	理事	鈴木 彰太	2020年卒
顧問	古関 恵一	1977年卒	理事	源 美恵子	1979年卒	理事	緑川 泰生	2021年卒
副会長	三野 直子	1974年卒	理事	戸次 聡史	1982年卒	理事	松田 理玖	2022年卒
副会長	宮沢 和正	1974年卒	理事	柳屋 克子	1983年卒	監事	高橋 政行	1973年卒
副会長	吉田 賢治	1975年卒	理事	大森 美樹	2016年卒	監事	鳴沢 清隆	1979年卒
副会長	杉淵 明子	1978年卒	理事	東島 粹生	2017年卒			
理事	川戸 直美	1974年卒	理事	仁科 広貴	2017年卒			

アドバイザー

岩野 英子	1968年卒
吉岡 新	1969年卒
松澤由利子	1970年卒
中村 光宏	1971年卒
水田 茂夫	1971年卒
薩田須美子	1972年卒
山田 祥子	1974年卒
田村 浩之	1975年卒
山口 順子	1976年卒

広報委員会 〈2024年3月現在〉*編集長

吉岡 新	1969年卒	本村美奈子	1980年卒
宮沢 和正	1974年卒	江口 真理	1981年卒
三野 直子	1974年卒	*堀越 睦	1981年卒
廣川 州伸	1974年卒	大森 美樹	2016年卒
吉田 賢治	1975年卒	東島 粹生	2017年卒
田村 浩之	1975年卒	堤谷 美柚	2018年卒
山口 順子	1976年卒	藤原 叶	2018年卒
杉淵 明子	1978年卒	宮岡あや野	2019年卒
源 美恵子	1979年卒	池ヶ谷駿介	2020年卒
本庄 忍	1979年卒	鈴木 彰太	2020年卒
鳴沢 清隆	1979年卒		
松浪賀津子	1980年卒		

篁会報



発行日
発行

2024年4月30日
篁会
〒112-0002
東京都文京区小石川4-2-1
東京都立竹早高等学校内
Eメール takamura-kai@gmail.com
https://www.takamura-kai.com
篁会 広報委員会
共立速記印刷株式会社
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋3-11-24
長尾 知真子(1982年卒)

編集
印刷

表紙

